

全員協議会顛末書

- I 日時 平成21年8月26日(水) 13時～14時40分
II 場所 滝沢村役場 4階 中会議室
III 出席者 議長 角掛邦彦、副議長 川原 清
議員 相原孝彦議員他18名(欠席：西村 繁)
村当局 柳村村長、松川副村長、盛川教育長、佐野峯総務部長、中道経済産業部長、畑村農林課長、遠藤教育部長、大坪学校教育課長、三上税務課長、高橋税務課総括主査、湯沢経営企画課長、熊谷経営企画課主査
事務局 太田局長、高橋次長、勝田主査

IV 協議

- 1 開 会 太田局長
- 2 挨拶

角掛議長…ご苦労様です。朝夕めっきり寒くなりましたが一週間後に開催されます9月定例会は万全の体調で臨んでもらえればと思っております。8月6日の岩手郡町村議会議員大会で決議いただきました要望事項について、郡町村議長会で25日には岩手河川国道事務所並びに岩手県に要望してまいりました。28日には仙台の東北整備局に出向いて要望活動する予定となっております。本日の午前中に議会運営委員会を開催しまして、先般報告いただきました議会制度検討委員会報告の対応について協議し、後ほど議運委員長から報告がありますが議会制度調査特別委員会設置に向けての協議をいただければと思っております。また、本日村報告事項が5件が提出されております。また、西村繁議員が検査のために欠席届が提出されておりますので、ご報告申し上げます。本日は宜しく申し上げます。

柳村村長…ご苦労様です。私からは、あいさつを兼ねまして何点か報告したい事項がありますので宜しく申し上げます。初めに衆議院選挙の期日前投票の状況がありますが25日現在2,258人が投票を済まされておりますが、有権者数に對しまして5.36%であり前回より777人多くなっており人数対比で1.46倍となっております。前回の期日前投票が11%でありましたが最終的に全体で15%を越える勢いとなっております。あと本日の深夜の0時をもって「交通死亡事故ゼロ日継続1,000日」達成となります。達成しますと28日交通死亡事故ゼロ日継続市町村表彰式が公民館で行われます。次に、「村道茨島土沢線」が9月1日の午前10時に全線が開通します。9時30分から開通式が行われる中で議員有志の方々によります鞍掛太鼓が花を添えていただくことになっておりますので議員有志の方々に対しましては心からお礼を申し上げます。また、報告事項の中にあります件ですが、相の沢牧野通年預託施設の場所について部長以上で現地を二カ所見ました結果、お示した場所が良いのではないかとのことでしたが勾配がきつく盛土が必要となりかなりの落差が生じ、造成費がかなり掛かる事が判明しました。もう一つの場所は牧野看視舎付近ですがアルペン道路からかなり入ることから冬季間の除雪が大変であることなどがありますが費用の兼ね合いを見ながら変更も有り得ます。次に、小中学校加湿器導入事業であります。地域活性化・経済危機対策臨時交付金のこれまでの入札残を利用してインフルエンザ対策として、雇用・経済対策からミクニ製品の加湿器を購入したい。ミクニには過去900人以上が勤務していたが経済不況で現在684人であり村内

雇用率が47%であります。何とか経済危機を乗り越えて欲しいという願いもあります。最後に、9月5・6日に産業まつりがありますが、5日の夜7時から花火が開催されますが各地では不況で花火を中止しているが、例年花火に企業から協賛金が80万円ほどでありましたが本年は村内企業の好意的配慮により花火に100万円を超える協賛が集まりましたので例年より素晴らしい花火が実施できると思いますので、お越しのほど宜しくお願いします。以上、報告してあいさつに代えさせていただきます。

3 説明事件

(1) 村報告事項

① 相の沢牧野通年預託施設整備計画について

(説明員：中道部長、畑村課長)

滝沢村の酪農産出額が岩手県内においては5位で農業の占める産出割合が畜産全体で61%となっており金額で55億ほどとなっております。その中でも酪農の成牛が15億円ほどとなっているが、酪農家戸数が70戸で平均年齢が51才で酪農後継者の割合が「いる30%」「いない29%」「未定41%」となっている。

農家の経年変化を見ますと毎年2%から3%が離農している状況にある。課題は、後継者問題である。

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

<質疑>

山本議員…設備の年間維持費は、預託1頭当たりの年間の村の持ち出しは。

畑村課長…年間維持費は2,100万円ほど、使用料1頭当たり500円を考慮しており180頭の6ヶ月間で1,600万円の収入ですので500万円の持ち出しを見込んでおります。

山本議員…詳しい資料が欲しいですね。毎年村費で500万円の持ち出しであり財政圧迫の話にならないか。

中道部長…現在も1,500万円の持ち出しで通年預託施設で更に500万円合計2,000万円位掛かる。通年預託施設に限ってですが酪農家が70戸から60戸に減ることで5年間の損失額が約2億円で6割を通年預託施設でカバーして1億2,000万円の収益が見込まれることから2,000万円の持ち出しを考えると収益効果があると考えます。

山本議員…経営に対する材料を持っていると思うが、説明の資料不足ではないか。

柳村村長…年間の運営コストについてはできるだけ下げたいと思っております。先般洋野町を視察してきましたが、あちらの話ですと100%預託されるとは限らなく80%と考える、餌のやり方を考えるなどトータルで牧野管理の持ち出しを極力減らすなど今後精査したい。滝沢村の場合は牧野使用料が非常に安いと言う話がある。他との兼ね合いで料金を上げなければならないとか、村内村外を見た場合にそれぞれの料金設定をしていますが今後は同一料金にして、村内を安くする場合は別途政策的な費用として見るなどして、これがある程度軌道に乗れば縮小も図って行くこともしなければならぬと思っております。今、数字を表に出せば一人歩きする。今後検討精査後、具体的な数値を示したいと思っております。

桜井議員…確認ですが、場所の変更の理由を聞きたい。

柳村村長…当初、現地を見たときにアルペン道路からかなり入り冬の除雪に掛かる費用を考えるとかなり効率が悪いと考えた。網張線の入った所を目視で見た所、良いのではないかと思ったが実際の傾斜が約10%あるので厳しい。100m盛土して平らにすると10m切土しなければならず、退避舎を切土して平らな部分を造らなければならず非常に効率悪い。使い勝手や費用面で今後精査しなければならない。

桜井議員…要するに場所については、今後精査しなければならないと言うことですね。

鎌田議員…計画は良いが、相手は生き物であるので管理計画でインフルエンザなどの病気になると淘汰になるので防疫のノウハウを持った人が必要と思うが考えは。岩中酪でも岩泉安家で止めている。難しいのが実態である。ノウハウを持った人がやるのか管理計画が見えない。

中道部長…今後詰めることになるが大きく二つに分けて相談させてもらいたい。一つは利用者のニーズを聞くことになるが配合飼料とか防疫上の実態の調査と運営上の調査が必要である。後は将来的に指定管理者に持っていきたい。指定管理者になる方にはノウハウを持っていただきたい。現に酪農に造詣の深い方が従事する環境を整え、常に農家さんの目線で現場に詳しい方に従事していただきたいと考えております。

鎌田議員…良い子牛を生産しない限り農家は意味が無いので、ただあつかって育てるだけでなくそれなりの良い育成牛を育てないと事業としては、その辺を加味してやらなければならない。

中道部長…ご指摘のとおりですので、十分加味して検討いたします。

② 学校環境緊急整備事業（小中学校加湿器導入）について

（説明員：遠藤部長、大坪課長）

インフルエンザ対策として学校現場において一定の保湿がインフルエンザウイルスの生存率を低くすることに効果があることから加湿器の設置によりインフルエンザの罹患予防し蔓延を防止する。

・購入台数205台 ・設置場所 村内小中学校

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

<質疑>

武田(猛)議員…加湿器の設置が村内小中学校は良いが、インフルエンザの問題では幼稚園や保育園には購入は考えなかったのか。

柳村村長…その点についてもさまざま考えましたが、当初は小学校だけの導入であったが臨時交付金の関係で精査して中学校まで拡大した。村が責任を持っているのが小中学校である。幼稚園保育園は私立や村直営でないで、そこまですると村の財政状況を考えると厳しい。

武田(猛)議員…新型インフルエンザが今後流行するので、子どもたちの事を考えるならば助成を考え検討すべきでないか。

柳村村長…これを最大限中学校まで拡大した。今現在村として出来る最大限の事だと考えております。今回の新型インフルエンザ対策として、ほかに先駆けてやる事なので出来得るならば国でも考えて欲しい。これ以上の購

入を拡大すると単費になるので今の段階では難しい。ただ今後、入札残やさまざまな事業変更が生じれば考える余地があるが、それは今後の事でそのようになったら考えなければならないと思っている。

遠藤議員…加湿器設置が姥屋敷中学校と柳沢中学校の購入台数が少ないか。
遠藤部長…姥屋敷と柳沢は小中併設校で職員室が一緒であるため。

③ 滝沢村税条例等の一部を改正することについて

(説明員：三上課長、高橋総括主査)

地方税法の一部を改正する法律が平成21年3月31日に公布されたこと等に伴い、滝沢村税条例等の一部を改正するものである。

※資料により細部にわたり説明がなされた。

<質疑>

なし

④ 第5次総合計画後期基本計画策定状況について

(説明員：佐野峯部長、湯沢課長、熊谷主査)

第5次滝沢村総合計画基本構想は、滝沢地域社会計画として平成17年度から平成26年度までの、10年間の計画期間が定められています。この滝沢地域社会計画の実現のために、行政が担う分野の計画が基本計画であり、前期基本計画及び後期基本計画と区分されています。平成21年度は前期基本計画5年間の最終年度であると共に後期基本計画の策定年度となっており、平成20年度から前期基本計画の検証と評価の下、本年度は、後期基本計画の策定にあたり、後期基本計画の政策体系と政策内容の概要である。

今後は、各会派並びに会派に属さない議員と日程調整いたしまして計画の中間で順次素案の説明会を実施したい。

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

<質疑>

なし

⑤ たきざわ地域社会報告書（ベンチマークリポート）2009について

説明員：佐野峯部長、湯沢課長、熊谷主査)

平成17年度に「これから10年間で、滝沢村をこんな風に良い村にしたい」という「滝沢村総合計画」という計画を立てました。この計画の中で、「こんな風に良い村にしたい」ということを6つの分野に分けて、47項目考えました。それらを「47のくらしの最適化条件」と呼んでいます。また、この「47のくらしの最適化条件」を実現させるために43項目の目標を決めて、その目標値を「めざそう値」と呼んでいます。これらの「47のくらしの最適化条件」と「めざそう値」がどのように進んでいるか、その状況を確認して、住民の皆さんに報告するために毎年度「滝沢地域社会報告書」を作成している。

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

<質疑>
なし

(2) 議会関係事項

- ①平成21年第19回滝沢村議会定例会の議会運営報告について
山谷議会運営委員長より、議会運営委員会報告書により説明がなされた。
-

<質疑>
なし

- ②(仮称)議会制度調査特別委員会の設置について
議会制度のあり方について、議員定数、議員報酬、政務調査費に関し必要な事項を調査することで、議長を除く議員21人全員で設置する。9月9日に発議、議決し設置する。
角掛議長より、資料により説明がなされた。
-

<質疑>
なし
議員全員…異議なしで賛同。

- ③平成20年度決算現地調査について 9月10日に実施する。
太田局長より、資料により説明がなされた。
-

<質疑>
山本議員…茨島土沢線を何回も見ているのに見るのか。
太田局長…9月1日に開通式がありますが、全線をバスで通過して交通状況を確認したい。

- ④平成20年度議会関係決算について
太田局長より、資料により平成19年度と平成20年度の比較で説明がなされた。
-

<質疑>
なし

②その他

- ・太田局長が監査委員事務局長を兼ねている事から、平成20年度の監査委員費の決算を資料により説明する。
 - ・岩手県町村議会議長会創立60周年記念式典の開催について
平成21年9月30日(水)午後1時から岩手県民会館 中ホール
役場から公用バスを運行します。欠席の場合のみ今日中に事務局まで報告願います。
-

<その他の質疑>
柳村議員…先程の総合計画に関する部分について、各会派ごとに説明するとあるが総合計画は議決事項ですので委員会で説明してはいかがでしょうか。

角掛議長…10年間のスパンの時は特別委員会でやってきましたが、これについての話は今でなく議運で話し合いをした方が良いと思います。只今、提案いただきました件につきましては定例会中にも議運がありますので、それを議題としながら話し合いを持っていただきたい。

高橋(盛)議員…8月15日の日報の記事に町村議会議長会で道州制導入断固反対の意見書を自民党に提出したとあるが、岩手県町村議長会はどうなっているのか。

角掛議長…話は聞いておりません。出したとなれば、おそらく中央の全国町村議長会での提出と思われます。

4 閉 会